

民法研究Ⅲ

選択 2単位

北見 良嗣

1. 授業の概要(ねらい)

担保物権法を中心に、金融取引において重要度の高い判例・論点や最近注目されているものを取り上げて勉強します。同時に、関連する民商法の他の領域も適宜取り上げ、ある程度民商法全体の理解に資するようにします。

(1) 開講時に、取り上げるテーマ(論点)とスケジュールを提示します。

(2) 就職後不可欠となる、人前でのプレゼン・討議能力についても、ゼミを通じての修得を目指します。

2. 授業の到達目標

① 法学検定スタンダード＜中級＞コース以上の法律知識

② 就職後に必要とされる一般教養

3. 成績評価の方法および基準

報告、議論への参加、問題意識等を総合評価します。積極的な貢献を期待します。

4. 教科書・参考文献

教科書

千葉恵美子・潮見佳男・片山直也 『Law Practice 民法Ⅰ【総則・物権編】[第4版]』 商事法務(2018)

参考文献

田高＝原田＝秋山 『リーガル・リサーチ&レポート(第2版)』 有斐閣(2020)

内田貴 『民法Ⅰ[第4版]総則・物権総論』 東京大学出版会(2008)

内田貴 『民法Ⅲ[第4版]債権総論・担保物権』 東大出版会(2020)

5. 準備学修の内容

講義内容のうち理解が難しい点についてはそのままにせず、必ずその日のうちにノート整理を行って、復習して下さい。

6. その他履修上の注意事項

① 参加学生は、毎回のスケジュールに沿って、内田民法やLPⅢにおける該当箇所を予習しておくことが求められます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション～進め方説明 |
| 【第2回】 | 教員説明 |
| 【第3回】 | LPⅠ 設問31:取消しと登記 |
| 【第4回】 | LPⅠ 設問36:民法177条の第三者の範囲 |
| 【第5回】 | LPⅠ 設問37:即時取得～192条 |
| 【第6回】 | LPⅠ 設問44:動産質・質権設定と転質 |
| 【第7回】 | LPⅠ 設問43:留置権の成立および効力 |
| 【第8回】 | LPⅠ 設問46:抵当権に基づく質料債権への物上代位 |
| 【第9回】 | LPⅠ 設問49:抵当権に基づく明渡請求 |
| 【第10回】 | LPⅠ 設問50:法定地上権～単純抵当 |
| 【第11回】 | LPⅠ 設問51:法定地上権～共同抵当 |
| 【第12回】 | LPⅠ 設問55:不動産譲渡担保① |
| 【第13回】 | LPⅠ 設問56:不動産譲渡担保② |
| 【第14回】 | LPⅠ 設問57:集合動産譲渡担保 |
| 【第15回】 | LPⅠ 設問58:所有権留保
まとめ |